

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名 農業支援サービス・スマート農業技術等導入支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農政課 スマート農業推進係 電話番号：058-272-1111(内4024)

E-mail：c11411@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 15,000 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	15,000	15,000	0	0	0	0	0	0	0
決定額	15,000	15,000	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

農業者の高齢化等による農家人口の減少が急速に進行する中、本県の農業生産を維持していくためには、生産現場における農作業等を支援するサービス事業体を育成することが必要である。

<農業支援サービス>

農業者に対して提供される農業に係る下記のサービス

- ① は種や防除、収穫などの農作業を受託し、農業者の作業の負担を軽減するサービス
- ② 機械・機具のリース・レンタル、シェアリングにより、農業者の導入コスト低減を図るサービス
- ③ 作業者を必要とする農業現場のために、人材派遣等を行うサービス
- ④ 農業関連のデータを解析して解決策を提案するサービス

(2) 事業内容

農業サービス事業体の新規参入やサービス拡大する場合に必要なスマート農業機械等の導入を支援する。

(3) 県負担・補助率の考え方

国10/10・補助率1/2以内、補助上限：30,000千円/1事業主体

(4) 類似事業の有無

有（スマート農業技術導入支援事業費補助金）

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	15,000	農業支援サービス事業の展開に必要なスマート農業機械等の導入に対する補助
合計	15,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略（2023～2027年度）
II - 3 - (3) - ② 「未来を支える農業・農村づくり」の推進
- ・ぎふ農業活性化基本計画（2026～2030年度）（仮称・令和8年3月策定予定）
II 潜在力をフル活用した生産強化
1 農畜水産物の供給力強化
- ・岐阜県スマート農業推進計画（第2期）（2023～2026年度）
重点施策（4）技術の普及
- ・岐阜県デジタル・トランスフォーメーション推進計画（2022～2026年度）
第2章 - III - 1 2 - (1) - ③ スマート農業技術の導入促進

(2) 国・他県の状況

国が公募し、全国で事業が実施されている。
(国事業名：スマート農業・農業支援サービス事業導入総合サポート事業)

(3) 後年度の財政負担

全額国庫のため県負担無し

(4) 事業主体及びその妥当性

当該事業の国の実施要領において、県内をサービス提供エリアとする事業は都道府県の間接補助事業として実施する事が規定されている。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

農業者の生産現場における農作業等を支援するサービス事業体を育成するとともに、スマート農業技術を活用する経営体数の増加を図ることで農業者の高齢化等による農家人口の減少が急速に進行する中、本県の農業生産を維持する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R6)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
						達成率
①スマート農業 技術導入経営体	741	741	1000	1300	1300	57%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 4 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 5 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 6 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価)	
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 今後も農家人口が減少する中、農業者を支援する農業支援サービス事業体の育成が不可欠であり、支援を継続する必要がある。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など</p>	